

保管用

TAJIMA

ご使用前に必ずお読みください。

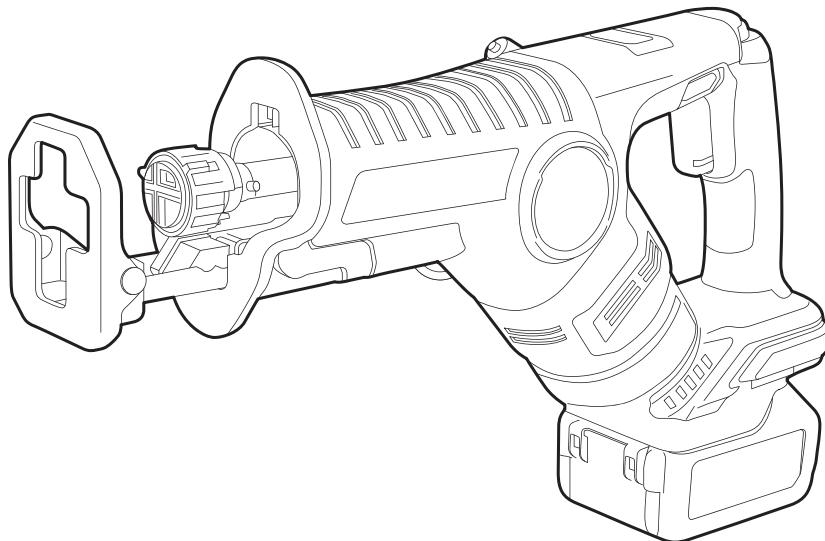
レシプロソー

PT-R400A

レシプロソー R400A

取扱説明書

2版



本製品は業務用です。

このたびは本製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能をご理解の上で、適切な取扱いと保守をしていただくようお願い致します。この取扱説明書は大切に保管してください。

もくじ

●安全上のご注意	2
●充電工具共通の安全上のご注意	2
●レシプロソーの安全上のご注意	6
●主要機能	7
●各部の名称および標準付属品	8
●別売品のご紹介	9
●ご使用前の準備	10
・レシプロ刃の取付け・取外し方	10
●使い方	11
・充電池の取付け・取外し方	11
・充電池保護機能	11
・充電池について	12
・充電池の充電方法	12
・USB 充電端子の使い方	13
・充電器の冷却について	13
・充電器の保管について	13
・充電池を長持ちさせるには	13
・充電池の寿命	13
・充電池の回収について	13
・シューの位置調整	14
・スイッチの操作	15
・LED ライトの点灯	15
・引掛けフックについて	16
・切断方法	16
・スピード調整ダイヤルについて	17
・電池残容量表示パネル	18
●保守・点検について	19
・本製品のお手入れ	19
・ご修理の際は	19

安全上のご注意

注意事項の「△危険」「△警告」「△注意」について

ご使用上の注意事項は「△危険」「△警告」「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

危険	死亡または重傷を負う可能性が高い内容です。
警告	死亡や傷害を負う可能性がある内容です。
注意	軽傷や財産の損害が発生する可能性がある内容です。

充電工具共通の安全上のご注意

危険

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」全てをよくお読みの上、ご理解いただき、正しくお使いください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。
- 「安全上のご注意」で示す「充電工具」は、充電式（コードレス）電動工具を示します。
- 専用充電池以外使わないでください。
 - ・改造した充電池（分解してセルなどの内臓部品を交換した充電池を含む）を使用しないでください。
 - ・工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
- 充電池は、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・発火、破裂の恐れがあります。
- 充電池に釘を刺したり、衝撃を与えるたりしないでください。
 - ・落としたり、何らかの損傷を受けた充電池は使用しないでください。
 - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 充電池の端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・充電池を金属と一緒に保管しないでください。
 - ・充電工具または充電器から外した後は、電池端子カバーを必ず取付けてください。
 - ・充電池の端子間にショートさせないでください。
 - ・短絡して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 充電池を火のそばや炎天下など高温の場所で充電、使用、保管しないでください。
 - ・充電池を周囲温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。充電池の劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- 充電池は専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
- 付属の電源コードは他の機器には使用しないでください。

警告

1. 作業環境

- ①作業場は整理整頓してください。また、十分に明るくしてください。
 - ・ちらかった暗い作業場は、事故の原因となります。
- ②可燃性のガス・液体・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
- ③使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・注意が疎かになり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- ④作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - ・埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ⑤高所作業のときは下に人がいない事をよく確かめてください。
 - ・充電工具や先端工具、材料などを落としたときなど、事故の原因になります。

2. 電気に関する安全事項

- ①電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。接地付きプラグは確実にアースをしてください。
- ②感電の恐れがありますので、金属製パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などのアースまたはアースされたものと、身体を接触させないようにしてください。
- ③充電工具は雨中や、湿ったまたは濡れた場所で使用したり充電しないでください。
 - ・感電や充電池が短絡する恐れがあります。
- ④充電器の電源コードは乱暴に取扱わないでください。
 - ・電源コードを持って充電器を運んだり、引張ったりしないでください。
 - ・また、プラグを抜く際にはコード部を引張らないでください。
 - ・電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。
 - ・電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
- ⑤屋外で延長コードを使用する場合は、屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
- ⑥USB 端子間をショートさせないでください。
 - ・針金などの金属物が USB 充電端子部に入るとショートして発煙、発火の恐れがあります。

3. 作業者に関する安全事項

- ①油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・疲れていたりアルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、充電工具を使用しないでください。
 - ・一瞬の不注意が深刻な傷害をもたらすことがあります。
 - ・屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などでの視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
- ②安全保護具や防音保護具を使用してください。
 - ・作業時は、常に保護メガネを使用してください。必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴、ヘルメットなどを着用してください。
 - ・騒音の大きい作業では防音用保護具（耳栓など）をご使用ください。
- ③不意な始動を避けるため、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- ④充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・付けたままにしておくと、負傷する恐れがあります。
 - ・本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかりと固定してください。

- ⑤無理な姿勢で作業しないでください。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑥作業に適した服装で作業してください。
 - ・回転部や可動部に巻き込まれる恐れがある衣服や手袋、ネックレスなどの装身具は着用しないでください。
 - ・すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
 - ・髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- ⑦集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・粉じんによる危険を低減するために、集じん装置は適切に使用してください。
- ⑧使用中は、振り回されないよう充電工具を確実に保持してください。
 - ・確実に保持していないとけがの原因になります。
- ⑨使用中は先端工具や回転部、切りクズなどの排出物に手や顔を近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。

4. 充電工具の使用と手入れ

- ①無理して使用せず、能力に合った作業でご使用ください。
 - ・安全に能率よく作業するために、能力に合った負荷で作業してください。
 - ・モータをロックさせるなどの無理な使用はしないでください。
- ②スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・スイッチで始動および停止操作ができない場合は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
- ③充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、充電池を充電工具から抜いてください。
 - ・充電工具の調整、保管、修理。
 - ・刃物、砥石、ビットなどの先端工具、付属品の交換。
 - ・その他危険が予想される作業。
- ④充電工具を使用しない場合、子供の手の届かない安全なところ、乾燥した鍵のかかるところに保管してください。
- ⑤充電工具の保守点検をしてください。
 - ・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・グリップは、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・注油や付属品、アタッチメントの交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、ご使用をお控えください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ⑥誤って落としたり、ぶつけたときは、先端工具や付属品、充電工具に破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑦先端工具は鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
- ⑧充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件や実施する作業に合せてご使用ください。
 - ・指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
- ⑨極端な高温や低温の環境下では、十分な性能が得られません。

5. 整備

- ①修理は、安全性を維持するために必ずお買い上げの販売店、または当社フリーダイヤルにお申し付けください。
- ②充電工具、充電器、充電池を分解、修理、改造しないでください。
 - ・発火や異常動作による事故の原因になります。

③異常や故障時には、直ちに使用を中止してください。

・充電工具や充電器、充電池が熱くなったり、異常に気づいたときは修理に出してください。

・そのまま使用すると発煙、発火、感電、けがに至る恐れがあります。

6. その他の安全事項

①当社純正品以外は使用しないでください。

・この取扱説明書および当社カタログに記載されている純正品以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

②充電池を差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

・スイッチがオンの位置にあるときに充電池を差し込むと事故につながります。

③充電池のロックが破損している場合は使用しないでください。

④正しく充電してください。

・充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。

・周囲温度が0°C未満、または40°C以上では、充電池を充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。

・充電池は、換気のよい場所で充電してください。充電中、充電池や充電器は布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。

・使用しない場合は電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
破裂や火災の恐れがあります。

・電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することが無いような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。

⑤ラッカーやペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。

・爆発や火災の恐れがあります。

⑥火災の恐れがあります。次のようなことはしないでください。

・段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。

・充電中に充電器、充電池の風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。

・綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

⑦充電器の充電池装着部には充電用端子があります。金属片や水などの異物を近づけないでください。

・そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

⑧充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。
・そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

⑨濡れた手で電源プラグに触れないでください。

・感電の恐れがあります。

⑩充電器は専用充電池の充電以外の用途には使用しないでください。

⑪充電器の端子間をショートさせないでください。

⑫電源が離れていて延長コードが必要な場合は、最高の能率で支障なくご使用していただきために十分な太さのコードができるだけ短くした状態でご使用ください。

⑬温度変化の激しいところで使用すると、結露による誤動作や故障の原因になります。

⑭高温などの過酷な条件下では充電池から液漏れすることがあります。

漏れ出た液体に不用意に触れないでください。

・万が一、充電池の液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。

・充電池の液は炎症ややけどの原因になることがあります。

⑮使用時間が極端に短くなった充電池は使用しないでください。

⑯ご使用済みの充電池は一般家庭ゴミとして棄てないでください。

・棄てられた充電池がゴミ回収車内などで破壊されて短絡し、発火、発煙の原因になる恐れがあります。

- ⑪材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
- ⑫充電池は電力量が 100Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・電力量は、充電池裏面のラベルに記載されています。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

レシプロソーの安全上のご注意

先に「充電工具共通の安全上のご注意」を述べましたが、次に述べる「レシプロソーの安全上のご注意」も守ってください。



警告

- ①本製品は、切断専用として作られています。
 - ・用途以外の使用により、けがの原因になります。
- ②作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - ・埋設物があると、レシプロ刃が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ③使用中は、本製品を確実に保持してください。
 - ・確実に保持していないと、本製品が振られ、けがの原因になります。
- ④使用中は、レシプロ刃や切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
- ⑤使用中、本製品の調子が悪くなったり、異常音がしたときは、直ぐにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社フリーダイヤルに点検・修理をお申付けください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑥誤って落としたり、ぶつけたときは、レシプロ刃や本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



注意

- ①レシプロ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・確実に取付けていないと、外れたりし、けがの原因になります。
- ②レシプロ刃および取付け面の切粉などを拭き取ってください。
 - ・レシプロ刃が外れたり、折れたりして、けがの原因になります。
- ③作業直後のレシプロ刃は大変熱くなっていますので、触れないでください。
 - ・やけどの原因になります。
- ④高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - ・材料や本製品を落としたときなど、事故の原因になります。
- ⑤本製品を運転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・けがの原因になります。
- ⑥作業時は必ず手袋を着用してください。
 - ・けがややけどの原因になります。

主要機能

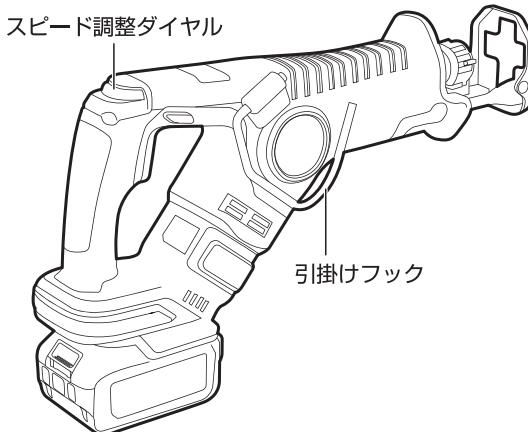
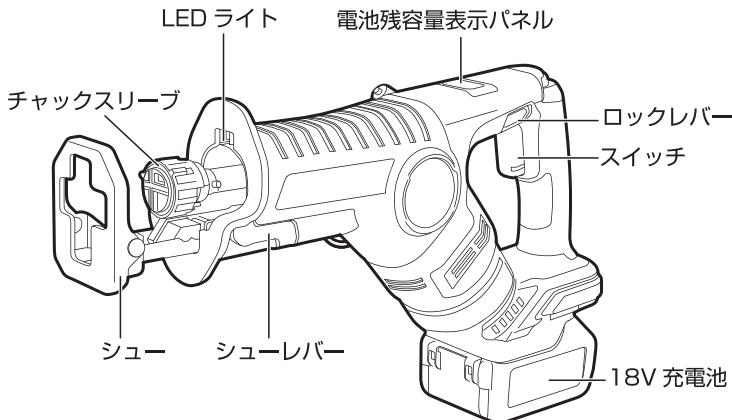
モデル	PT-R400A
電動機	DC ブラシレスモータ
充電池	リチウムイオン充電池
電圧	DC18V
ストローク長	31mm
ストローク数	ダイヤル4:0~2,800min ⁻¹ ダイヤル3:0~2,000min ⁻¹ ダイヤル2:0~1,400min ⁻¹ ダイヤル1:0~1,000min ⁻¹
切断能力	金属管:外径 130mm 木材:厚さ 255mm
本体寸法	全長 386×全高 240×幅 89mm
重量 (充電池含む)	3.5kg
取付け可能刃厚	0.6~1.6mm

充電器	PT-QC18
入力電圧	単相交流 100V
入力周波数	50-60Hz
入力容量	180W
出力電圧 / 電流	電池充電端子:直流 18V/7.5A USB充電端子:直流 5V/2A

※改良のため、主要機能および形状などは予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。

各部の名称および標準付属品

各部の名称



標準付属品と対応一覧

品名	品番	PT-R400A	PT-R400ASET
18V 充電池 (6Ah) ※電池端子カバー付	PT-LB1860	-	○
18V 急速充電器 ※電源コード付属	PT-QC18	-	○ (約 80% 約 37 分) (フル充電 約 57 分)
キャリーケース	PT-CA400	○	○

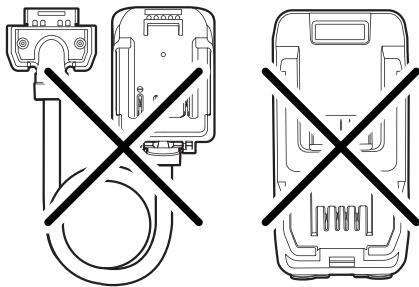
○ … 付属 - … 付属無し

別売品のご紹介

■別売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。

品名	品番
18V 充電池 (4Ah)	PT-LB1840
18V 充電器	PT-LC18

△注意 本製品は 18V 接続コード (電基地セット) には取付けできません。



18V 接続コード

電基地

品名	品番
18V 接続コード	PT-SC18
電基地	PT-EB18
電基地セット	PT-EB18SETCP

ご使用前の準備

レシプロ刃の取付け・取外し方

⚠ 警告

レシプロ刃の取付け・取外しの際は、必ずスイッチを切り充電池を抜いてください。
・充電池を差したまま行うと事故の原因になります。

⚠ 注意

レシプロ刃および取付け面の切粉などを拭き取ってください。

・レシプロ刃の取付けが不完全となり、外れたり、折れたりしてけがの原因になります。

レシプロ刃は確実に取付けてください。

・確実でないと、外れたり、けがの原因になります。

作業直後のレシプロ刃は大変熱くなっていますので触れないでください。

・やけどの原因になります。

レシプロ刃を取り外す際、刃先、切削クズなどに注意してください。

・けがの原因になります。

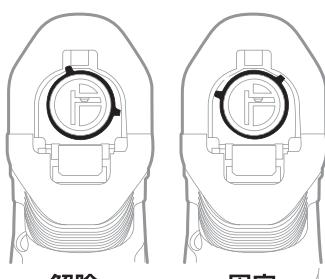
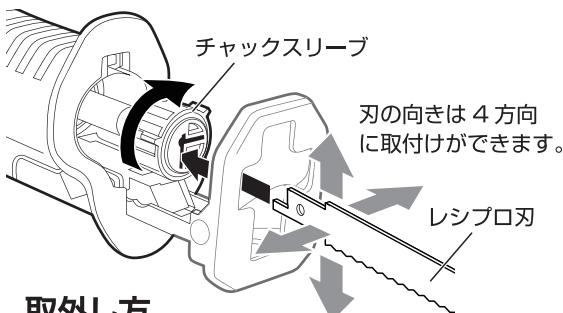
レシプロ刃は常に切れ味の良いものを使用してください。

・切れないのでレシプロ刃を使用すると作業効率が悪いばかりでなく、モータが過負荷状態になり、故障の原因になります。

取付け方

1. チャックスリーブの位置を確認します。
本製品の中に入っているときは、充電池を取り付け、スイッチを入れて外に出します。
2. 充電池を取り外します。
3. チャックスリーブを矢印の方向に回し、レシプロ刃をチャックスリーブの奥まで差し込みます。
(刃の向きは4方向に取付けができます。)
4. 指を離すとチャックスリーブが自動で固定位置に戻ります。
5. レシプロ刃を引張り、抜けないことを確認します。
6. 無負荷で動作させ、異常振動などがない事を確認します。

チャックスリーブ部 拡大図



取外し方

1. チャックスリーブの位置を確認します。本製品の中に入っているときは、充電池を取り付け、スイッチを入れて外に出します。
2. 充電池を取り外します。
3. チャックスリーブを指で回しながらレシプロ刃を抜き取ります。

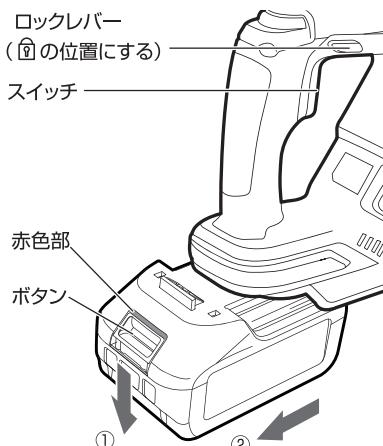
使い方

充電池の取付け・取外し方

△危険

充電池は確実に本製品に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が完全に見えなくなるまでしっかり差し込んでください。
・差し込みが不十分の場合、外れて事故の原因になります。

- ・充電池を本製品から取外すときは、
 - ①充電池正面のボタンを下げるながら
 - ②スライドさせると取外せます。
- ・取付けるときは逆の要領で、本製品の溝に合せて、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥へ確実に挿入してください。



△注意

充電池を着脱する際にはロックレバーをロック位置にし、スイッチが動かないことを確認してから作業してください。

充電池保護機能

・過負荷保護

充電池の寿命を長くする目的で本製品が過負荷状態となると、モータが自動停止する保護機能が付いております。モータが自動停止しますが、故障ではありません。

一旦スイッチを離し、充電池を取り外してから、再びご使用ください。

それでも正常に動作しない場合は、ご使用をお控えください。

過負荷保護機能が働くと、電池残容量表示パネルの左右が交互に3秒間点滅します。

・温度保護

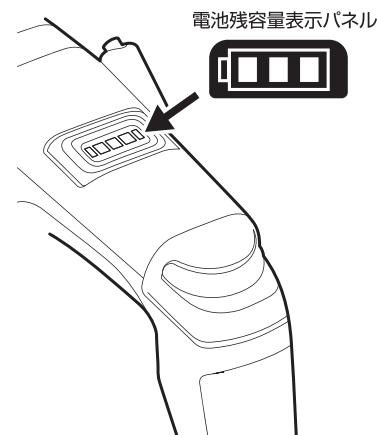
充電池が高温になるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。保護機能が働くと、残容量表示ランプが全て3秒間点滅します。このときは充電池を取り外し、充電池を冷ましてください。

それでも正常に動作しない場合は、ご使用をお控えください。

・過放電保護

充電池の容量が少なくなるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。保護機能が働くと、残容量表示ランプの1つが3秒間点滅します。このときは充電池を取り外し、充電池を充電してください。

それでも正常に動作しない場合は、ご使用をお控えください。



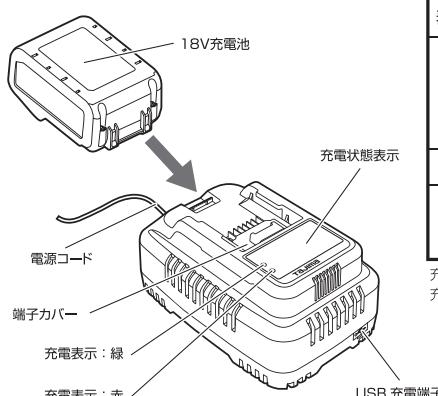
充電池について

- お買い上げ時は、十分に充電されていないため、充電池保護機能が働いている場合があります。ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
- 使用しないときは電池端子カバーをかぶせてください。



充電池の充電方法

- 充電器に電源コードを差し込み、電源プラグを AC100V の電源コンセントに差し込んでください。
充電表示ランプは「緑」の点滅をゆっくり繰り返します。
※必ず付属の電源コードを使用してください。
※付属の電源コードは他の機器には使用しないでください。
- 充電池を充電器の挿入溝にそって、一番奥まで入れてください。充電器の端子カバーは充電池挿入に伴い開閉します。
- 充電池を挿入しますと充電表示ランプが「赤」に点灯し、充電が約 80%になると「緑」の点滅が早く繰り返されます。充電が完了すると「緑」の点灯に変わります。充電時間は周囲温度（0°C～40°C）や充電池の状態（新品・長期保存充電池や寿命に近い充電池など）により変動します。
- 充電池を抜取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



表示ランプ	表示内容		
緑	-----	ゆっくり点滅	充電前
	はやい点滅	80%充電
	---	点灯	充電完了
緑・赤	はやい点滅	充電不可（電池異常）
赤	-----	ゆっくり点滅	充電待機（低温/高温）
	---	点灯	充電中

充電不可：寿命またはゴミづまりにより充電ができません。

充電待機：充電池が低温もしくは高温のときは充電できません。

充電池が充電に適した温度になると自動的に充電を開始します。

△注意

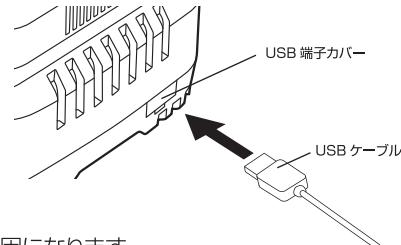
- 充電器（PT-QC18）はタジマ 18V 充電池専用です。ほかの目的には使用しないでください。
- 充電開始後、緑と赤の充電表示ランプが同時に点滅する場合は、充電池の寿命またはゴミづまりで充電できません。
- 充電時間が周囲温度（0°C～40°C）や充電池の状態に応じて変動します。
- 充電中は充電器、充電池の風窓はふさがないでください。
- 次のような状態のときは充電器または充電池に故障があると考えられますのでご使用をお控えください。
 - ×充電器の電源プラグを 100V の電源コンセントに差し込んでも「緑」の表示ランプが点滅しないとき。
 - ×充電池を挿入しても「赤」の表示ランプが点灯しないとき。

USB 充電端子の使い方

本充電器は、USB 機器の充電器としても使用することができます。

次の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ・万一の場合に備えて、ご使用になる USB 機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。接続した USB 機器の内部データが（予測できない問題により）破損・消失する可能性があります。
- ・USB 機器の種類によっては、充電できない機種があります。
- ・2A を超える出力電流を必要とする USB 機器は、充電器に接続しないでください。USB 充電端子の最大出力電流は 2A です。
- ・USB 充電端子部に損傷や焼損が見られる場合には、絶対に使用しないでください。
- ・充電器との接続には、USB 機器付属または純正の USB ケーブルをご使用ください。
- ・ご使用前に接続する USB ケーブルに損傷がない事を確認してください。
- ・USB 機器を充電しないときは、USB 機器を充電器から取外してください。



USB 機器のバッテリ寿命が短くなるなど、思わぬ事故の原因になります。

- ・使用後は充電器側面の USB 端子カバーを戻してください。

カバーが開いていると充電器内部に水滴やほこりが侵入し充電器の故障や発煙・発火につながります。

1. 充電器側面のカバーを外して、USB ケーブルで USB 機器と接続してください。
2. 充電器に電源コードを差し込み、電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
3. 使用後は、USB 機器、USB ケーブルを取り外し、カバーを戻してください。
4. 電源コンセントから電源プラグを抜いてください。

充電器の冷却について

- ・充電器の性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンにより送風の音がしますが故障ではありません。
- ・充電中にファンの送風音がしなければ充電器の故障が考えられますので、ご使用をお控えください。
- ・充電器の風窓をふさがないでください。
- ・頻繁に「緑」・「赤」の表示ランプが同時に早く点滅するときは、ご使用をお控えください。

充電器の保管について

- ・充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
 - × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
 - × 温度や湿度の急変する所
 - × 湿気の多い所
 - × 直射日光のあたる所
 - × 振発性物質の置いてある所

充電池を長持ちさせるには

- ・工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・満充電した充電池を再度充電しないでください。
- ・充電は周囲温度 0°C ~ 40°C の範囲で行ってください。
- ・使用後は、充電せずに保管してください。

充電池の寿命

- ・充電池の使用時間が著しく低下してきたときには、充電池の寿命がつきたものとお考え頂き、新しい充電池と交換してください。
- ・寿命のついた充電池をそのまま使用していると、充電池だけではなく、充電器故障の原因にもなります。

充電池の回収について

使用済み充電池はリサイクルのため回収しております。
お買い上げの販売店へご持参ください。



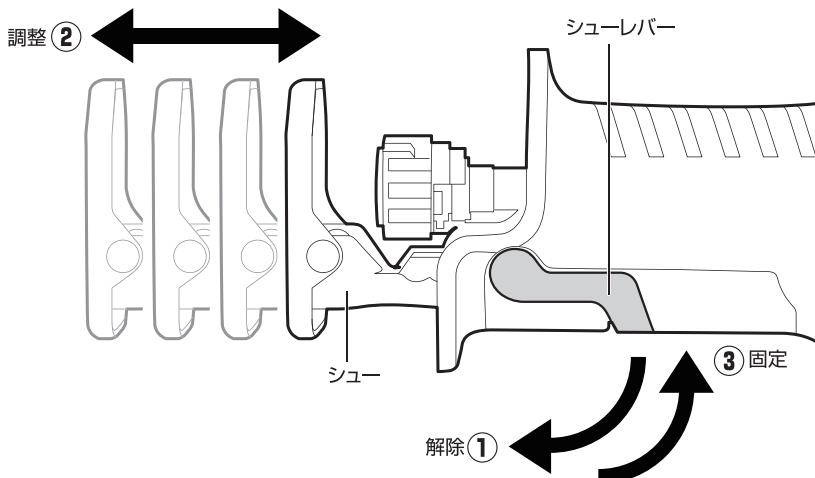
シューの位置調整

⚠ 警告

- シューの位置調整をする際は、必ずスイッチを切り充電池を抜いてください。
・充電池を差したまま行うと事故の原因になります。

・レシプロ刃の一部だけ切れ味が悪くなったような場合には、レシプロ刃の全体が有効に使用できるようにシューの位置を調整してください。レシプロ刃の寿命が長くなります。

- ① シューレバーを開いて解除します。
- ② シューの位置を調整します。(4段階の位置調整が可能です。)
- ③ シューレバーを戻してシューを固定します。



⚠ 注意

- ・シューを引き出し限界位置より前に出した位置では固定できません。
- ・無理に固定しようとすると、シューレバーが破損する原因になります。
- ・シューは必ず取付けて使用してください。

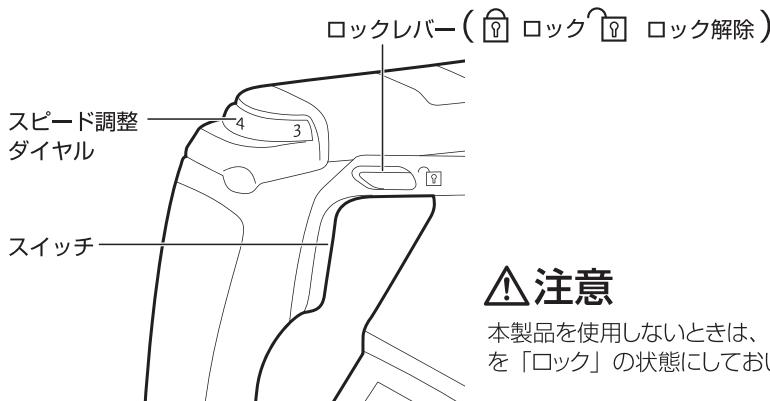
スイッチの操作

⚠ 警告

本製品に充電池を差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・スイッチをいったまま充電池を差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。

- ① スイッチはロックレバーを  側に押した後、トリガーを引くと入り、放すと切れます。
- ② スピード調整ダイヤルは、「4」が高速、「1」が低速の 4 段階です。
- ③ スイッチの引き加減により、ストローク数が調整できます。
- ④ ロックレバーを  側にするとロックされ、スイッチの引金が引けなくなります。



⚠ 注意

本製品を使用しないときは、ロックレバーを「ロック」の状態にしておいてください。

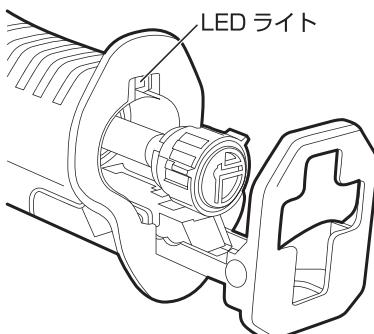
LED ライトの点灯

⚠ 注意

LED ライトの光を直接のぞき込んだり、目に当たないでください。

- ・ LED ライトの光が連続して目に当たると目をいためる原因になります。

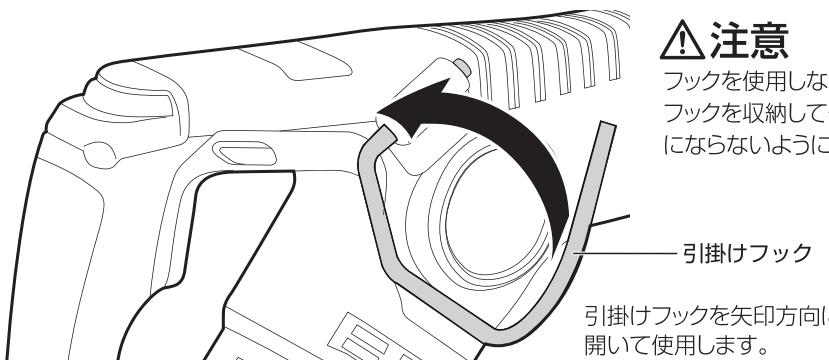
- ・スイッチの引金を引くと点灯し、放すと約 10 秒で消灯します。



引掛けフックについて

⚠ 警告

- 引掛けフックを使用するときは、ロックレバーを「ロック」の状態にしておいてください。
- ・本製品が動き出すと、事故の原因になります。
 - 高所作業で引掛けフックを使用しないでください。
 - フックを使用するときは、本体がすべり落ちたり、風などで不安定にならないことを確認してください。
 - ・本製品が落下するなど、事故の原因になります。
 - このフックは人体への吊り下げ用ではありません。ベルトやズボンなど人体への吊り下げは、けがの原因になりますので、絶対にしないでください。



⚠ 注意

フックを使用しないときは、
フックを収納して作業の妨げ
にならないようにしてください。

切断方法

⚠ 警告

- シューを取り外したり、材料から離して使用しないでください。
- 反動が大きくなります。また、急激にレシプロ刃をひねるような切断はしないでください。
- ・レシプロ刃が折れたりして、けがの原因になります。
 - 庭木を切断する場合は、枝をしっかりと保持した状態でシューを切断部に押しつけてください。
また、切落とし材に十分注意してください。
 - ・けがの原因になります。

- ・金属を切断する場合は切削油を塗布してください。
- ・シューを材料にしっかりと押し当ててください。
- ・レシプロ刃を材料に軽く接触させます。
- ・スイッチの引金を少し引き、低速で切り始めます。
- ・レシプロ刃が材料に切れ込んだら、スイッチの引き加減を調整して、お好みのスピードで
切断します。

⚠ 注意

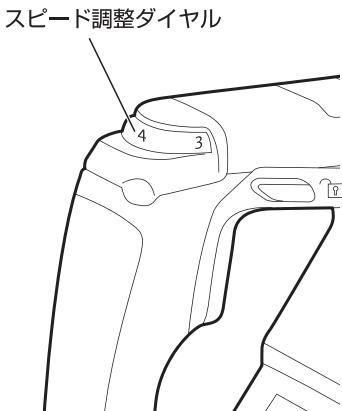
- ・予備の充電池を使用して連続作業をされる場合は、本製品を十分冷ましてからご使用ください。
- ・低速で長時間の連続作業はモータに無理がかかり、モータ焼損の原因になります。特に切断中、
レシプロ刃が停止するような使い方はしないでください。

スピード調整ダイヤルについて

- ・ストローク数の調整はスピード調整ダイヤルで行います。
- ・作業内容によりストローク数を4段階に調整することができます。
- ・数字が大きくなるほどストローク数が多くなります。
- ・作業しながらでもストローク数を調整することができます。

ストローク数の目安

スピード調整ダイヤル	ストローク数 [min ⁻¹] (回/分)
4	0~2,800
3	0~2,000
2	0~1,400
1	0~1,000



材料に合ったダイヤル表示を選んでください。

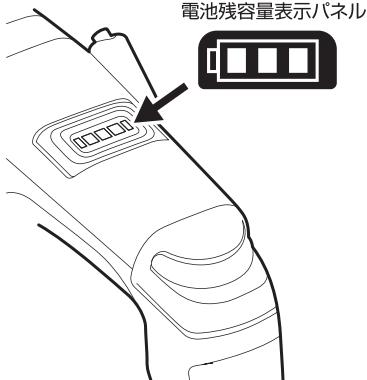
材 料	ダイヤル表示
木材	4
アルミ	2~4
鉄パイプ・鋳鉄管	2~3
プラスチック	1~3
ステンレス	1

⚠ 注意

- ・ストローク数が高速の場合、一般的には速く切れますが、レシプロ刃の寿命が短くなります。また、低速では早く切れませんが、レシプロ刃の寿命は長くなりますので都度調整してください。
- ・スピード調整ダイヤルは無理に回すと故障の原因になります。
必ず 1→2→3→4、4→3→2→1 の順番に回してください。

電池残容量表示パネル

充電池残容量はスイッチを引いたときに
電池残容量表示パネルでお知らせします。



電池残容量表示パネルの点灯状態と充電池の状態
は以下となっています。

※残容量は目安としてご利用ください。

点灯状態	充電池の状態
	十分あります
	約半分程度あります。
	少ないでので早めに充電してください。
	すぐに充電してください。
	温度保護機能が働いている状態です。 ^{※1}
	過負荷保護機能が働いている状態です。 ^{※2}

⚠ 注意

- 電池残容量表示パネル内のすべてのランプが消えている場合は、充電池の消耗を抑えるために電源が OFF の状態です。本製品が作動しない程度に少しだけスイッチを引くことにより、充電池の残容量を確認することができます。
- スイッチを引き始めてから 3 秒後に電池残容量表示パネル内のすべてのランプが消えます。
- 充電池残容量が無くなつた場合、1 つのランプが 3 秒間点滅します。その場合は充電池を充電してください。

※1 すべてのランプが 3 秒間点滅します。その場合は充電池が高温あるいは低温状態になっています。
0°Cから 40°Cの温度でご使用ください。それでも正常に動作しない場合は、充電池の故障の可能性がございますので、ご使用をお控えください。

※2 左右のランプが交互に 3 秒間点滅します。その場合は充電池を外してからまた装着してください。
それでも正常に動作しない場合は、本製品に故障の可能性がございますので、ご使用をお控えください。

保守・点検について

⚠ 危険

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本製品より充電池を抜いてください。
充電池を本製品に差し込んだまま行うと、事故の原因になります。

本製品のお手入れ

- 乾いた布できれいに拭いてください

⚠ 注意

- ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール などは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店またはフリーダイヤルにお問い合わせください。

■各種お問い合わせはこちらまで

0120-125577

受付時間：月曜日～金曜日 **9:00～17:00**
(12:00～13:00/祝日・当社指定休日を除く)

株式会社TJMデザイン

本社/〒174-8503 東京都板橋区小豆沢3-4-3

www.tajimatool.co.jp

A01131